

満空(気圧)試験治具

&

リークテスター

満水試験治具

NEW

エアコンプレッサーとの
接続が可能になりました！



水とくらしのグッドパートナー

株式会社 小島製作所

本社 〒454-0027 名古屋市中川区広川町5丁目1番地
TEL.052-361-6551(代) FAX.052-361-6556
IP電話 050-3535-8295(営業)

首都圏 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-17朝日ビル4階
コアセンター TEL.050-3732-9412(IP電話)
MCC FAX.03-5652-6355 E-mail mco@kojima-core.co.jp

製造元
株式会社あのびる
TEL:048-845-8006
FAX:048-845-8007

満空(気圧)試験治具

排水系統の漏れ検査には「満水試験」が一般的に行われています。満水試験には多量の水を使用し、とくに試験終了後の排水方法に問題を抱えておりました。当満空試験は排水管の漏れを空気圧によって試験しますので、満水試験に比べて簡便に行うことができ、水を使用しないため環境に優しい試験方法です。

LTCS



LTCM



排水用特殊継手対応品

- LTCS 80
- LTCS 100
- LTCS 125(受注生産品)

MD継手対応品

- LTCM 80
- LTCM 100
- LTCM 125(受注生産品)

試験条件

- 試験圧力………最小0.035MPa(35kPa) (SHASE-S 206-2000に準拠)
- 保持時間………最小15分 (SHASE-S 206-2000に準拠)
- 判定条件………減圧のないこと。

試験方法

※排水用特殊継手を試験する場合は、適合しない継手がありますのでご相談ください。

Point

排水立て管及び横枝管の支持を確実にし、空気圧によって排水管が抜け出さないことを確認して下さい。
 排水管が若干でも抜け出すと配管内の容積が変わり、減圧の原因となります。
 耐火二層管の目地補修は試験後に実施して下さい。

■試験対象の各部位を閉塞する

閉塞方法

横枝管

Eプラグ

立て管

テストプラグ

■試験圧力0.035MPa(35kPa)まで加圧する

■保持時間15分
減圧の有無を確認する

減圧あり

減圧なし

補修
再試験

試験合格

■漏れ箇所の確認
石けん水を塗布して泡の有無でチェック！

満空試験に必要な用具

専用のコンテナに標準セットとして下記の用具が同梱されています

満空試験治具

LTCSの場合

- 本体は透明塩ビ製
- 圧力計(0~0.06MPa)付



治具取付け金具

LTCMの場合



専用コンテナ



テストプラグとエアホース (立て管閉塞用)

テストプラグと5m安全ロープ

- 立て管80A→TP-3を使用
- 立て管100A→TP-34を使用
- 立て管125A→TP-45を使用

テストプラグ



5mエアホース

エア抜き治具

3mエアホース (管内エア注入用)



Eプラグ(横枝管閉塞用)

- 入り個数→40A=2個
50A=6個
80A=2個



エアポンプ

- #7001

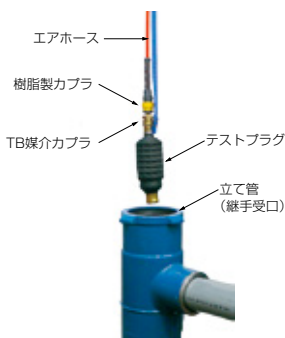


満空試験の手順

※満空試験をする場合は予め計画し、原則として1フロア毎に実施して下さい。詳しくは「満空(気圧)試験治具取り扱い説明書」をご覧ください。

手順 ①

継手受口部から立て管内にテストプラグを挿入します。(横枝管はEプラグで閉塞)



手順 ②

テストプラグを立て管の所定の位置まで吊り下げて、エアポンプまたはエアコンプレッサにて適正圧力(34.3kPa)までエアを注入し膨張させます。



手順 ③

テストプラグを膨張させた後、余分なエアホース、安全ロープを立て管内に収納し、安全ロープの先端をナスカンに取付けます。



手順 ④

満空試験治具を継手受口部に挿入します。LTCSの場合には、満空試験治具及び継手内部のパッキンに水をつけると入れやすくなります。



手順 ⑤

LTCS用

満空(気圧)試験中に治具が抜け出さないように、取付け金具を図のように取り付けます。



LTCM用

満空(気圧)試験中にエア漏れのないようにMD継手にボルトで締付けます。



手順 ⑥

エアホースをカブラに接続し、エアポンプまたはエアコンプレッサにて管内に試験空気圧35kPa(0.035MPa)まで加圧し、試験対象となる配管系統の漏れの有無を確認します。



警告

使用上のご注意

- 1 空気圧により、満空試験治具が抜け出さないように取付け金具を確実に取付けて下さい。抜け出しにより失明などの危険があります。
- 2 横枝管閉塞用Eプラグについても抜け出さないように確実に取り付けて下さい。抜け出しにより失明などの危険があります。なお、より安全のため付属のワイヤを床バンド等に取り付けて下さい。

排水管の満水テストが簡単にできます
あらゆる用途に応じたオプションが充実

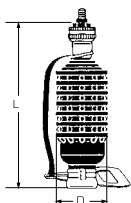
NEW

エアコンプレッサーとの
接続が可能になりました!

リークテスター (満水用)

立て管閉塞用テストプラグ

テストプラグはエアを注入して膨張させてください。本体は良質の天然ゴム製で過剰圧力による破損を防止する安全弁が内蔵されています。



符号	適用管径	D(mm)		L(mm)	
	呼び(A)	平常時の外径	平常時の長さ	膨張時の長さ	
TP-122	32~50	30	178	249	
TP-3	65~80	50	193	268	
TP-34	80~100	66	208	313	
TP-45	100~125	89	283	376	
TP-56	125~150	114	378	592	

横枝管閉塞用Eプラグ

本体はゴム製で管の外径に差し込みバンドのネジをしっかりとねじ込んで締付けてください。又、安全のため付属のワイヤを床バンド等に取り付けてください。



符号	適用管
E-20	塩ビ管用
E-25	塩ビ管用
E-40	銅管・塩ビ管用
E-50	銅管・塩ビ管用
E-65	銅管・塩ビ管用
E-80	銅管・塩ビ管用

安全ロープ

符号	長さ
VNR5	5m
VNR10	10m
VNR20	20m



エアホース

符号	長さ
AH3	3m
AH5	5m
AH10	10m
AH20	20m



エアポンプ

符号
#7001



満水試験をする場合の器具の選び方

- 1 立て管の口径に合ったテストプラグを選びます。
- 2 横枝管の口径に合ったEプラグを選びます。
- 3 立て管の長さにあったエアホースと安全ロープを選びます。

テストプラグへのエア注入は、エアポンプ
又は、圧力計付エアコンプレッサーのご使用を推奨
します。

表1 テストプラグの最低保持圧力と
安全弁作動圧力

符号	テストする管径(A)	最低保持圧力 kgf/cm2(Psi)	安全弁作動圧力 kgf/cm2(Psi)
TP-122	32	2.5(36)	5.1(72)
	40	2.5(36)	4.8(68)
	50	2.5(36)	4.6(66)
TP-3	65	2.5(36)	4.2(60)
	80	2.5(36)	3.4(48)
TP-34	80	2.9(41)	4.9(70)
	100	2.9(41)	4.2(68)
TP-45	100	2.9(41)	5.5(78)
	125	2.9(41)	4.2(60)
TP-56	125	2.9(41)	5.6(80)
	150	2.9(41)	5.1(72)

満水試験の方法

- 1 横枝管の末端をEプラグで閉塞してください。
- 2 エアホースと安全ロープを接続したテストプラグを管内の適切な位置にセットし、エアポンプで表-1に示す「最低保持圧力」以上の空気圧でテストプラグを膨張させ、立て管内を閉塞し満水にしてください。
- 3 満水テスト中は落下防止のため安全ロープを適切な場所に固定してください。尚、排水用特殊継手に使用する場合には、**適合しない継手がありますのでご相談下さい。**

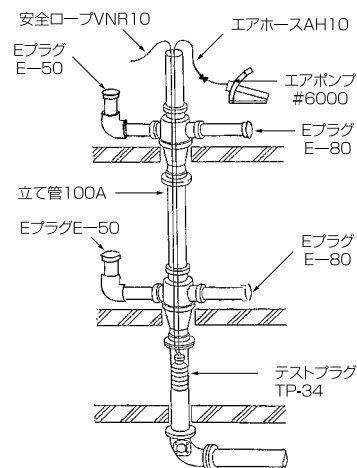
ご注意

- テストプラグは各サイズとも許容最大水頭は9mですが、満水テストは1階ごとに実施してください。
- テストプラグを立て管内に吊り下げて使用する場合は、テストプラグが落下しないよう安全ロープを必ず使用してください。
- テストプラグは管外では絶対に膨張させないでください。又、テストプラグのいかなる部分も管外にはみ出さないよう膨張させてください。

【テストプラグ】は使用する前に穴、亀裂等がないか表面を確認してください。表面に付着している土砂は洗い落としてください。洗浄は中性洗剤を使用してください。使用後は乾燥した場所で保管してください。極端に冷たい場所、熱い場所及び直射日光に当たる場所には置かないでください。

【エアホース】は使用する前に傷、亀裂及び劣化の無いことを確認してください。

【安全ロープ】は使用する前にささくれ、傷等が無いことを確認してください。



満水テストの一例